

MONTONE簡易セットアップガイド

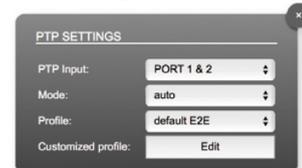
デフォルトIPアドレス (Port1) : 192.168.0.1

PCを192.168.0.xxに設定してブラウザで上記アドレスにアクセスしてください。
IEはお勧め致しません。

上部のタブ以外に、画面の設定表示をクリックすると下記のさらに詳しい設定タブが開きます。表示にマウスを当ててみてください。

SYNCソースデフォルトは「PTP」です。PTPという表示をクリックすると、詳細ウィンドウが開きます。

PTP Settings



MADI 1 to 4



MADIの1-4ポート、それぞれのフレームフォーマット、チャンネルモードを設定します。

Network Settings

The two network ports are configured individually.



STATUSタブ内、NETWORK項目内のNameをクリックすると、NETWORK SETTINGが開きます。

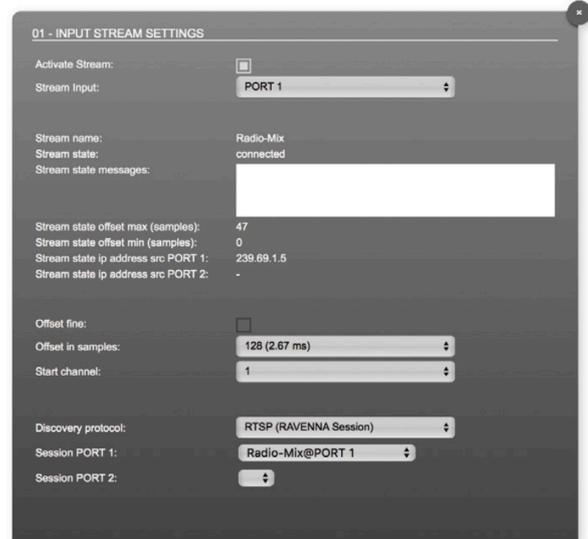
Port1とPort2はそれぞれIPアドレスを設定することができますが、デフォルトは同じアドレス(リダンダントモード)の設定となっています。

IPアドレスを変更した場合、Applyをクリックして、モジュールの再起動をおこなってください。

Status - Input Streams



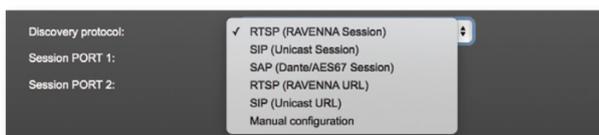
Input Stream Settings



インプットストリーム

最大32の入力ストリームを受信できます。各ストリームは、'RAVENNA session' (SDP = Session Description Protocol)で組み立てられます。こちらを設定すると、オーディオデータの受信を開始します。

「Start channel」を設定してオーディオマトリクスのチャンネル割り当てをおこなってください。例えば、「3」と設定して、2chを有するストリームを受信した場合、ルーティングマトリクスの3chと4chに受信したチャンネルが割り当てられます。



Discovery protocolでRTSPを選択すると、Ravenna Sessionを受信します。その他、SIPやSAPなど様々なプロトコルに対応しています。

Session Port1/Port2どちらからの受信かを選べます。受信したいセッションを選択してください。

<TIPS>

▶=ストリーム有効(ストリームを有効にしたい場合は、クリックして▶にしてください)

■=ストリーム無効

Status - Output Streams

OUTPUT STREAMS			
01 Stage A	8 Ch ▶	17 MONTONE-42_stream_17	8 Ch ■
02 Stage B	8 Ch ▶	18 MONTONE-42_stream_18	8 Ch ■
03 Stage C	8 Ch ▶	19 MONTONE-42_stream_19	8 Ch ■
04 MONTONE-42_stream_4	8 Ch ■	20 MONTONE-42_stream_20	8 Ch ■
05 MONTONE-42_stream_5	8 Ch ■	21 MONTONE-42_stream_21	8 Ch ■
06 MONTONE-42_stream_6	8 Ch ■	22 MONTONE-42_stream_22	8 Ch ■
07 MONTONE-42_stream_7	8 Ch ■	23 MONTONE-42_stream_23	8 Ch ■
08 MONTONE-42_stream_8	8 Ch ■	24 MONTONE-42_stream_24	8 Ch ■
09 MONTONE-42_stream_9	8 Ch ■	25 MONTONE-42_stream_25	8 Ch ■
10 MONTONE-42_stream_10	8 Ch ■	26 MONTONE-42_stream_26	8 Ch ■
11 MONTONE-42_stream_11	8 Ch ■	27 MONTONE-42_stream_27	8 Ch ■
12 MONTONE-42_stream_12	8 Ch ■	28 MONTONE-42_stream_28	8 Ch ■
13 MONTONE-42_stream_13	8 Ch ■	29 MONTONE-42_stream_29	8 Ch ■
14 MONTONE-42_stream_14	8 Ch ■	30 MONTONE-42_stream_30	8 Ch ■
15 MONTONE-42_stream_15	8 Ch ■	31 MONTONE-42_stream_31	8 Ch ■
16 MONTONE-42_stream_16	8 Ch ■	32 MONTONE-42_stream_32	8 Ch ■

Output Stream Settings

01 - OUTPUT STREAM SETTINGS

Activate Stream:

Stream Output: **PORT 1 & 2**

Stream name (ASCII): **Stage-A**
RTSP URL (by-name): rtsp://MONTONE-42.local:80/by-name/Stage-A
RTSP URL (by-id): rtsp://MONTONE-42.local:80/by-id/1
SIP URI: sip:Stage-A@MONTONE-42.local

Unicast:

RTP payload ID: **98**

Samples per Frame (packet time): **48 (1.00 ms)**

Audio format: **L24**

Start channel: **1**

Number of channels: **8**

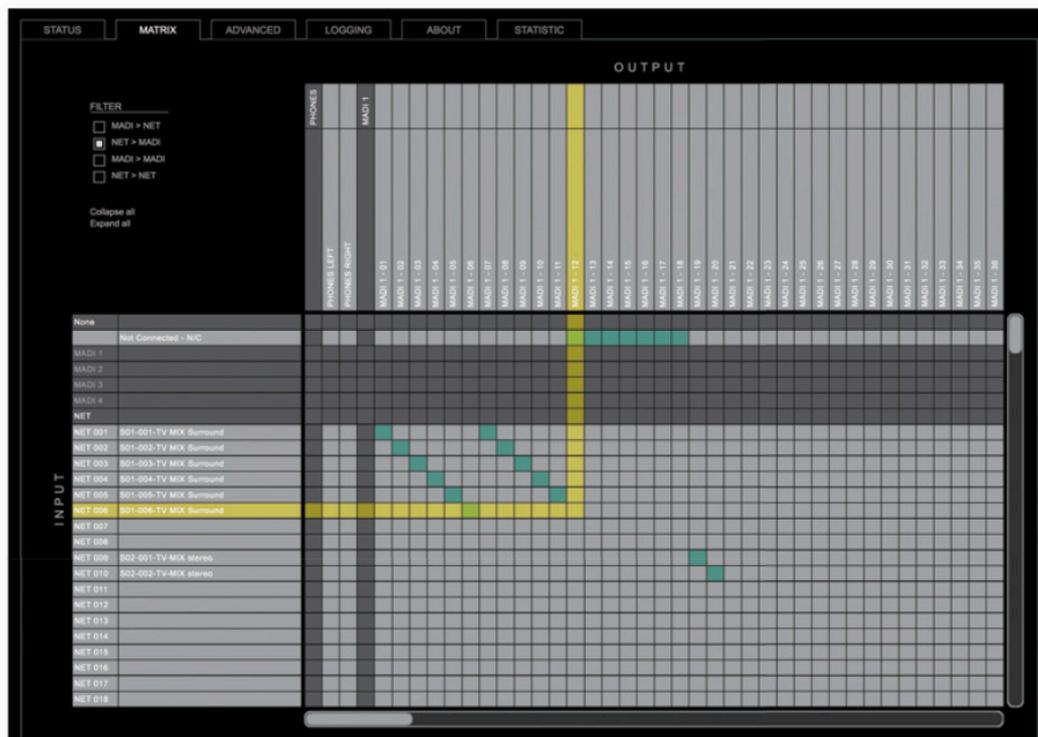
PORT 1	PORT 2
RTP dst port: 5004	RTP dst port: 5004
RTCP dst port: 5005	RTCP dst port: 5005
Dst IP address (IPv4): 239.69.1.1	Dst IP address (IPv4): 239.2.0.1
Use SIP server: <input type="checkbox"/>	Use SIP server: <input type="checkbox"/>
SIP server URL: <input type="text"/>	SIP server URL: <input type="text"/>

アウトプットストリーム

最大32の出力ストリームをネットワークに送信できます。各ストリームは、ストリームパラメータ(チャンネルやフォーマットなど)を含む、'session' (SDP = Session Description Protocol)で構成されています。各ストリームに個別のストリーム名(ASCII)をラベリングすることができ、セットアップの編成時、そのラベル名でストリームを確認できます。

ストリームは8ch単位で設定でき、Start Cahnnel でスタートチャンネルとNumber of cahnnels で、送信するチャンネル数を選べます。

Matrix



MATRIXのタブで、256chのMADI (MADI 1-4)と256chのネットワークチャンネル(NET 001 - NET 256)を管理/設定します。

それぞれ、INPUTは垂直方向に示され、OUTPUTは水平方向に示されます。右上に各種フィルターが準備されています。こちらでチャンネルのルーティングを行ってください。

< TIPS >

ストリームラベル<SXX> - <XXX> - <ストリーム名>

S <XX> = 'STATUS'タブのストリーム番号

<XXX> = ストリームに含まれるオーディオチャンネルの番号

